

歴史を活かすまちづくり

歴史のまちに博物館を

「歴史と文化のまち足利」は、室町幕府を開く足利氏を輩出し、日本最古の総合大学足利学校が創設される等、全国に誇れる歴史都市です。さてそんな足利市には「博物館」がありません。実際に文化財を保存、展示する施設は3カ所ありますが、全て老朽化した中古施設で、歴史のまちの風格を感じることはできません。博物館は「保存」「教育」という役割が主ですが、「活かす」という視点を加えると、さらにその可能性が広がります。例えば観光活用です。文化財は人を集める有効なコンテンツです。世界的に人気がある運慶作の仏像も足利から発見されていますし、1ヵ月で約4万人を集めた山姥切国広のような刀剣も足利ゆかりの品です。こうした活用しきれていない足利の宝を一体的に展示できる施設があれば、強力な磁石として観光客を集めることができるはず。また、入館料だけでなくテナント貸しをしたり、関連商品を開発したり、エリアを開発したりと、民間のノウハウを生かすことで歴史文化による経済効果も期待できると考えます。また、財源については文化庁等が様々な支援事業を用意していますので活用ができるはず。また、財源については文化庁等が様々な支援事業を用意していますので活用ができるはずです。

博物館については市民、議会、行政が本格的な議論をスタートすべきだと考えます。これからも「歴史のまちの具現化」を目指して精進して参ります。



国重文の可能性のある榊崎寺の埋蔵物

歴史的まちなみの整備

足利には重伝建※2を擁する栃木市や桐生市の様に、連続する歴史的な建物が並ぶ場所はありません。しかし、国宝鑓阿寺や日本遺産足利学校のような、訴求力のある歴史資源が多く残っています。また、まちなかエリアでは石畳などを整備し、魅力ある歴史的空間作りに努めてきました。景観重点地区の指定、国の支援による電線の地中化や修景整備、古建築の維持などを進め、更なる歴史的景観の整備を進めるべきと考えます。



歴史的景観は人々の心を掴む(金沢市)

※2…重要伝統的建造物群保存地区の略。城下町や宿場町など伝統的な建造物がある程度集中するエリアを文部科学省が選定する制度。

文化財の防災・防火対策

火災による世界遺産首里城の焼失、地震による熊本城の倒壊と、文化財は常に災害や火災等による滅失のリスクを抱えています。足利においては、市立美術館地下収蔵庫は水害、郷土資料展示室、月谷民俗資料室は老朽化等による火災、盗難、ふるさと学習・資料館は土砂災害のリスクを抱えています。貴重な歴史資源を安全とは言えない状況下に数十年置き去りにしてきたのが、「歴史のまち足利」の現実です。今こそ本格的な議論をすべきです。施設の整備や防災対策と共に、デジタル化による永久保存も有効と考えます。



▲詳細

スエヨシレポート

足利市議会議員 プロレスラー [末吉としひろ市政レポート]

vol.10
2021年7月発行

期日前投票所を商業施設に設置
高齢者生活応援ガイドが完成
梁田地区に自主避難所2ヶ所追加

市民の未来は
みんちの未来



特集
「歴史を活かすまちづくり」

令和2年9月議会一般質問

◎市長の政治姿勢について
～足利市総合計画、中橋の架け替え～
◎公民連携による空間の利活用
～河川空間、道路空間～

出張! 市政報告会・意見交換会

末吉利啓が皆様の地元や会社などに邪魔して、市政報告をいたします。お気軽にお問い合わせください。

アシカガ+ミライ茶論(サロン)

- 日時/毎月第2水曜日 午後6:30～8:00
- 場所/珈琲蔵(栃木県足利市旭町2292)
- ※毎月行っている意見交換会です。どなたでも参加できます。詳しくはHPへ。

■末吉利啓プロフィール■

昭和56年生まれ足利出身のプロレスラー。足利市朝倉町に生まれ福富町で育つ。足利を元気にするため観光や歴史を切り口に地域イベント・プロレス大会の開催、イベントの司会、コラム執筆、講演など様々な活動を続ける。平成27年足利市議会議員選挙に出馬し初当選(現在2期目)。市議会議員プロレスラーとして活動中。

■末吉としひろ後援会■

〒326-0331
栃木県足利市福富町2019-2
☎0284-22-3958
✉info@sueyoshi-toshihiro.com

■ホームページ&フェイスブック&ツイッター■

【Homepage】<https://sueyoshi-toshihiro.com/>
【Facebook】<https://www.facebook.com/HijiDanjo>
【Twitter】@HijiDanjo

末吉としひろ 検索



討議資料 【写真】史跡榊崎寺跡